日中国交正常化45周年記念
青少年中華伝統芸能
初開催　長崎公演　入場無料

【日時】5月8日（月）午後6時30分開演（午後6時開場）
【場所】長崎ブリックホール　【定員】1,900人（抽選）
【申込】往復はがきに住所・氏名（返信用にも記入）、電話番号、参加人数（1枚につき4人まで）を記入し、長崎県国際課「青少年中華伝統芸能長崎公演」係（〒850-0035 元船町14-10 橋本商会ビル6階）へ。【申込期限】4月24日（月）必着　【結果】返信用はがきで通知します。当選通知を持参のうえご来場ください。
【問い合わせ】長崎県国際課（☎895-2087）

長崎では初めての公演。中国国内で選抜され研さんを積んだ6歳から20歳までの青少年およそ20人が、二胡（にこ）・中国舞踊・変面や少林寺拳法の演武などの伝統芸能を披露します。卓越した中華伝統芸能を堪能しませんか。【出演者】中華文化大楽園優秀才芸学生交流団　【主催】中華人民共和国国務院僑務弁公室　【後援】中華人民共和国駐長崎総領事館　【協力】長崎県、長崎市、長崎華僑総会、長崎新華僑華人協会

青少年中華伝統芸能　長崎公演　検索

世界遺産候補探訪 ～長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産～

今月から全12回シリーズで長崎市の構成資産を中心に「潜伏キリシタン関連遺産」をわかりやすく紹介します。

第1回「潜伏キリシタン関連遺産」とは

キリスト教は16世紀に日本に伝わりましたが、その後、江戸幕府はキリスト教の信仰を2世紀以上にわたり禁止しました。
その間、宣教師が不在にもかかわらず、長崎と天草地方では潜伏キリシタンたちが密（ひそ）かに信仰を守っていたことに「潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産としての価値があります。
潜伏するきっかけとなる出来事があった「原城跡」や、密かに信仰を続けていくためにさまざまな形をとっていた10の「潜伏キリシタン集落」、潜伏が終わるきっかけの舞台となった「大浦天主堂」など、長崎県と熊本県にある12の資産がその価値を証明しています。

Hidden Christian Sites in the Nagasaki Region
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

VEGETABLE OIL INK　UD FONT
※リサイクル用紙を使用しています。
長崎市コールセンター あじさいコール 午前8時～午後8時 年中無休 ☎095-822-8888（市役所代表電話）
編集■長崎市広報広聴課　〒850-8685 長崎市桜町2-22 ☎095-829-1114
発行日■平成29年4月1日　印刷■㈱藤木博英社